

令和 6 年度環境保全報告書

住友ゴム工業株式会社

① 当該年度の重点取組目標・計画の実施状況

ア. 地球温暖化対策【温室効果ガスの抑制】

神戸市の目標である2030年に2013年比60%削減に向けて、燃料・電力の省エネルギー、太陽光発電導入、燃料転換、グリーン電力の購入などを通じてCO₂排出量の削減に取り組んでいます。

2024年度のCO₂排出量は『225 t-CO₂』となり、前年比93%減少しました。主な要因は、2023年10月より神戸本社、2024年1月からタイヤテクニカルセンターを含む技術研究地区の購入電力を再生可能エネルギー由来の電力に切り替えたことです。これにより、CO₂排出量は2013年比93%削減となり目標を達成しました。

項目		2013年 (基準年)	2022年	2023年	2024年
CO ₂ 排出量	ガソリン、A重油、軽油 (t-CO ₂)	0	3	1	1
	都市ガス (t-CO ₂)	440	368	149	154
	※1 電気 (t-CO ₂)	2,833	3,921	2,567	0
	その他のガス (t-CO ₂)		181	369	70
	合計 (t-CO ₂)	3,273	4,473	3,086	225

※1 バイオマス利用のグリーン電力の購入量を控除

-93%

イ. 省エネルギーの推進

当社では各エネルギー使用量の削減に取り組んでいます。2009年に燃料転換（A重油→都市ガス）を実施し、都市ガスの使用量は一旦増加しましたが、その後改善に取り組んでいます。（2010年以降A重油・軽油は非常用発電機燃料として使用）
2013年以降、電力使用量は、新技研館の竣工、ダンロップスポーツ社との合併、大型試験設備の導入などにより大幅増加しています。対前年では、平均気温の上昇、社員の出勤率向上等により、電気使用量は7%増、都市ガス使用量は3%増となりました。

項目		2013年 (基準年)	2022年	2023年	2024年
ガソリン、A重油、軽油	使用量(L)	0	1,200	400	436
都市ガス	使用量(m ³)	190,582	164,029	72,788	75,216
電気	※ 購入量(kWh)	8,590,062	15,207,109	15,061,987	16,046,871

※バイオマス利用のグリーン電力を含む

ウ. 埋立廃棄物量の削減、リサイクルの推進

目標である「ゼロエミッション※の維持」は、達成できました。

開発試作品のリサイクル、廃プラスチック類のリサイクル、建設廃材のマテリアルリサイクルの推進などに取り組み、目標を達成しました。
今後もゼロエミッションの維持に取り組みます。

※ゼロエミッション：廃棄物埋立率(廃棄物発生量に対する直接埋立廃棄物量の比率)が1%未満

項目	2013年	2022年	2023年	2024年
廃棄物埋立率 (%) (直接埋立廃棄物量/廃棄物発生量)	1.0	0.0	0.0	0.0

② 公害防止対策に係る報告

ア. 目標達成状況と目標達成のために講じた措置・対策

目 標 項 目		目標達成状況	目標達成のために講じた措置・対策
大 気 汚 染 防 止	対象施設無し (都市ガス燃料の吸収式冷温水機を 2022年3月に廃止)		
下 水 神 道 戸 条 市 例	排水水質規制値の遵守	排出にかかる目標値を全ての測定 結果が満たしていました。 別表1参照	排水処理施設の適正な維持管理に努めるとともに、排 出水の汚濁状態測定を計画的に実施し、規制値の遵 守状況を確認しました。
び 騒 兵 音 庫 規 庫 制 県 制 条 法 例 及	騒音規制値の遵守	騒音にかかる目標値を全ての測定 結果が満たしていました。 別表2参照	騒音発生施設の適正な維持管理に努めるとともに、騒 音測定を計画的に実施し、規制値の遵守状況を確認 しました。
び 振 兵 動 庫 規 庫 制 県 制 条 法 例 及	振動規制値の遵守	振動にかかる目標値を全ての測定 結果が満たしていました。 別表3参照	振動発生施設の適正な維持管理に努めるとともに、振 動測定を計画的に実施し、規制値の遵守状況を確認 しました。

別表1 排水に係る水質測定結果

項目	測定値		規制値
	Min.	Max.	
水素イオン濃度	6.4	7.9	5～9
鉛及びその化合物	0.01未満	0.01未満	0.1mg/L以下
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	0.0005未満	0.0005未満	0.005mg/L以下
亜鉛及びその化合物	0.08	0.30	2mg/L以下

別表2 騒音に係る測定結果

時間帯	測定値 (5ポイント)		規制値
	Min.	Max.	
朝 (6時～8時)	56	69	70以下
昼 (8時～18時)	53	69	70以下
夕 (18時～22時)	56	69	70以下
夜間 (22時～6時)	48	59	60以下

別表3 振動に係る測定結果

時間帯	測定値 (5ポイント)		規制値
	Min.	Max.	
昼間 (8時～19時)	30	42	65以下
夜間 (19時～8時)	25未満	34	60以下

③ 地球温暖化対策に係る報告

ア. 2024年度における電気・燃料等の使用量、温室効果ガス排出量

活動の区分	燃料・焼却物等の種類	使用量等	単位	単位発熱量(MJ)	排出係数	排出量	温暖化係数	合計(CO ₂ 換算)
					kg-CO ₂ /MJ	kg-CO ₂		kg-CO ₂
燃料の使用	原料炭		kg	28.7	0.0902		1	
	ガソリン	200	ℓ	33.4	0.0686	458	1	458
	A重油	0	ℓ	38.9	0.0708	0	1	0
	B重油		ℓ	41.8	0.0741		1	
	軽油	236	ℓ	38.0	0.0689	618	1	618
	LPG		kg	50.1	0.0598		1	
	都市ガス	75,216	m3		※1 2.05	154,193	1	154,193
	その他(廃棄物等)						1	
電気事業者から供給された電気の使用	一般電気事業者	16,046,871	kWh		※2 0.000	0	1	0
熱供給事業者から供給された熱の利用			MJ		0.067		1	
合計						155,269		155,269

※1 都市ガスの排出係数については算出時点未公表であったため、令和7年度提出用 代替値（省令の排出係数）：2.05 (t-CO2/千m³)を使用。
2.05 (t-CO2/千m³) = 2.05 (kg-CO2/m³)

※2 2024年度調整後排出係数 関西電力(株) メニュー-A 0.000kg-CO2/kWh
電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用) - R5年度実績 - R7.3.18 環境省・経済産業省公表より

イ. 当該年度の計画達成状況

温室効果ガス	排出量目標 (kg-CO ₂)		排出量実績 (kg-CO ₂)		基準年比〔%〕	
	今年度(2024年度)	2030年度	基準年度(2013年度)	今年度(2024年度)	今年度	2030年度
二酸化炭素	2,689,838	206,000	3,273,000	155,269	4.7%	6.3%
メタン	3,926	8,032		4,395		
一酸化二窒素	537	1,100		602		
HFC	362,959	74,864		64,713		
PFC						
六フッ化硫黄						
合計	3,057,260	289,996	3,273,000	224,979	6.9%	8.9%

ウ. 目標達成のために講じた措置・対策の達成状況

	分野	項目	目標	実施状況
1	グリーンエネルギー利用	太陽光発電の継続利用	前年実績同等の継続	45,543kWh 前年比104%
		バイオマス利用のグリーン電力購入の継続	前年実績同等の継続	16,046,871MWh 電力購入量の100% (令和6年1月より)
2	エネルギー使用の合理化	LED照明などの省エネタイプ照明の導入拡大	計画的に実施	計画的に実施 10,352kWh削減
		空調機の更新	計画的に実施	更新はせず、空調機の清掃で 対応 7,970kWh削減
		その他（エア―漏れ対策、電気の小改善）	計画的に実施	50,373kWh削減
		空調室内温度管理の適正化、昼休みの一斉消灯	徹底	徹底

④ 公害防止対策、地球温暖化対策以外の環境保全活動に係る報告

2024年度の環境保全活動に係る具体的実施内容

	分野	項目	細目	目標	実施状況
1	再生可能エネルギー導入の推進	グリーン電力の購入	－	神戸地区全棟グリーン電力の維持	達成
		太陽光発電	－	前年実績同等の継続	達成(前年比104%)
2	自動車対策	グリーンエネルギー自動車の導入	HB車＋EV車の比率を前年実績以上に高める	前年実績以上	達成(42%→50%)
		マイカー通勤の禁止	原則禁止の維持	原則禁止の維持	達成(100%)
		出張時の公共交通機関利用の促進	－	徹底	達成(徹底)
3	プラスチックに係る資源循環の促進	プラ製品の設計を環境配慮型（紙・生分解性素材・バイオマス素材・リサイクル素材など環境負荷の低減につながる素材）に転換	・人工芝のマイクロプラスチック対応	対策の実施	実施(実施流出抑制効果の高い資材・製品の開発)
		使い捨てプラ（プラスチック容器包装など）をリデュース	・テニスボール容器のふたやプラスチックラベルを紙化	2030年に2019年比40%削減	実施(2024年実績 2019年比33.8%削減)
			タイヤラベル、店頭POP削減 ゴルフボールの包装窓フィルムを順		
4	環境管理システムの維持向上	ISO 14001グローバル統合認証の維持	－	2023年定期維持審査の受審、認証継続	達成(2024年9月維持審査を受審、認証継続)
		コーポレート監査、内部監査の実施	－	本社及び全製造拠点で計画的に実施	達成(計画通り実施)
5	脱炭素経営の推進	SBT（科学的な排出削減の中長期目標）認定の取得	－	SBT認証継続	達成
6	従業員教育	環境保全に関する社員研修	－	従業員向けに教育を実施	達成(従業員・役員に対する研修実施)
		社内啓発	－	計画通り実施	達成(計画通り実施)
7	緑化活動	植樹	「郷土の森づくり」活動	計画的な植樹、下草刈り、伐採、間伐を行い、理想的な里山の整備と維持を行う。	達成（以下の計画通り） ・活動拠点：27ヶ所 ・植樹：73回 ・整備：372回 ・延参加人数：2,331名